



奴奈川太鼓が新潟古町に鳴り響く

県が主催する、ふるさと“にいがたの秋祭り”に奴奈川小学校児童の太鼓、獅子舞、神楽と松代老人クラブの花ひさごの製作実演が9月24日、新潟古町で披露されました。

ページ	今月号のご案内
2~8	町民対話集会終わる
9	待望の温泉噴出
14	長寿と健康を祝福
18	島田健司氏500万円を寄付
10~11	キノコ雑談
12~13	松代町の野鳥
16~17	おしらせひろば



初めての町民対話集会に 七二五人 参加

松代・室野
は
来年度に

町民対話集会を終えて

町長 関 谷 達 治

七月十七日、南部地域の人々を対象に海老分校で開催スタートいたしました町民対話集会は、回を重ね九月一日、十一回目の福島集落を最後に本年度分の幕を閉じました。

中心地松代と室野を残しほぼ全域の部落の方々から沢山の参加をいただき、なかには一軒から二、三人の出席もあり、盛況裡に終了をさせていただきました。ここに厚くお礼を申し上げます。

『明るく、生き生きとした定住の里』、時代のニーズにあった『活力ある松代町』づくりのため、住民直接参加の対話とふれあいを基本姿勢に町政を進めたいとお願いいたしておりました私にとって、松代町初の町民対話集会の成功

は大きな前進であったと考えております。

この上は、対話集会で寄せられた町民各位の貴重な御意見、御要望をしっかりと胸におさめ、財政的に許すかぎりにおいて今後の町政執行に反映してまいりたいと思います。

来年は今年開催できなかった松代と室野からスタートしたいと考えております。又このたび町長室を全面的に改装し、地区代表の方々と直接対話出来る場も作っていただきましたので、開かれた町長室として気楽においで下さるようお待ちしております。

町民対話集会の概要をお知らせするに当たり参加していただきました町民各位に、あらためて感謝申し上げます。

八月号で既に南部と北山地区の対話集会の模様を皆さんにお知らせしましたが、今月号では三回目の峠会場から最終会場となった福島・奈良立地区までの模様を一挙に掲載してみました。

それぞれの会場で必ずと言って良いほど出た質問に、温泉掘削状況、過疎問題、老人対策、道路の草なぎ、北越北線等々の問題があります。これは過疎が止まらず高齢化だけが進む現在に不安を抱き、温泉と鉄道に大きな期待をしている正直な気持ちの表われだったのではないのでしょうか。次頁から各会場ごとの質問と答弁を紹介しますが、掲載にあたり紙面の都合上、内容は要旨のみで、同内容の質問は開催日の早い会場に掲載し重複を避けました。

“山菜採り禁ず”の

立看板を

峠・木和田原・竹所・濁

8月1日
地区公民館
70名

- ①竹所・濁間の町道の舗装を必要に応じ用途の高い所から順次やってゆきたい。
- ②部外者の山菜採り禁止の立看板の設置を

町内全域というわけにはいかないが来年度から何らかの手段を講じたい。

- ③工場誘致等の町の構想は働く場の確保のため企業の誘致とその他の用地取得と団地造成を考えている。
- ④竹所まで完全無雪化を

期限付除雪となっているが、今後、機械力の整備増強を図り要望に添えるようにしたい。

- ⑤雨漏りする公民館の修繕費の補助を
- ⑥集落センターの階段に手すりを

取り付けは可能と思う。

- ⑦温泉の掘削状況と計画は土質が悪く工事は難行している。開発計画の青写真はで

きているが温泉が出ないことにはどうすることもできない。

- ⑧寝たきり老人世帯の国保税が高くなったが

昨年度と税率は同じである。前年の所得にもよるので調べてみたい。

- ⑨配置したブルの車検費用に補助を

当時配置を見合わせた地区との関係もあり、現段階では

観光の第一歩として 川をきれいに

犬伏・孟地・芋島・中子・片桐山・滝沢

8月2日
孟地小学校
90名

- ①滝沢・松代間のマイクロバス運行の見通しは

臨時議会の議決を得られれば十月一日から運行できるようにしたい。

- ②町道の雑草除草剤の補助が薬剤散布機の貸出しはできないか

来年度に散布機を購入した

できない。

- ⑩早朝の除雪は降雪量の多いところを基準にやってほしい
- 今年の除雪対策会議で県側に提案してみたい。

⑪峠部落上り口を改良し除雪車が入れるようにしてほしい

金額も重むためすぐにはできないが担当課と検討し前向に対処したい。

- ⑫中学校通学バスの連絡を良くし待ち時間を無くして
- ⑬に話してみるがここだけの問題でないので難しいと思う。

- ⑤一億円の使途は

町民の意見を聞き総合計画審議委員会及び議会に諮り決定したい。現在、基金として積み立ててある。

- ⑥観光についての考えはこの土地に合った観光を模索している。
- ⑦温泉開発による利点と掘削の動機は

雇用の場等の他に波及効果が期待できる。掘削は帝石の石油試掘の際のデータによった。

- ⑧高卒者を毎年十人位採用したらどうか

毎年々々十人という訳にはいかない。来年は役場でも何人か採用するつもりである。

- ⑨フィリピン、韓国との姉妹都市は考えていないか
- ⑩ふるさと宅配便の成果は

現在二百名の会員がある。会員の開拓と都会の志向の察知が課題となっている。

- ⑪観光開発公社を造ったらどうか

将来的にはそのような方向も考えなければと思う。

- ⑫ふるさとの河モデル事業があると聞いているが

当町では状況的に該当しなかったと記憶している。

- ⑬観光で生きる方策としてまず川をきれいにすることを考えてもらいたい。

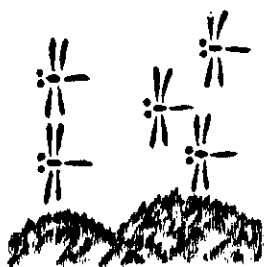
川をきれいにすることは賛成であるので、今後PRしてゆきたい。

- ⑭雪の活用法はないか

冬期間北越北線沿線の駅で日曜日ごとにイベントをやる構想がある。千年にはスキー場を、太平にはクロスカントリーコースを今年造っている。克雪対策としては室野に流雪溝の計画がある。

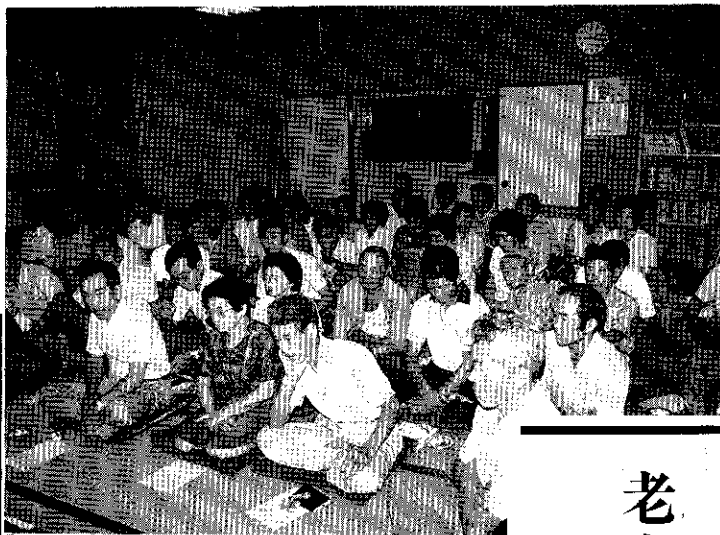
- ⑮個人の雪対策について援助はないか

克雪住宅建築資金貸付制度があり十九戸、三千四百万円の貸し出しがある。



「自分たちの町を良くしたい」

集まった人たちの願いはどこの会場でも同じです。



老人ホームの建設を

蒲生・名平・寺田

8月10日
蒲生生活改善センター
48名

- ① 農免道路の用地買収予定は出稼ぎされる前に調印できるようにしたい。
- ② (関連) 地主に今まで説明不足だったが
測量等が確定した段階で地権者の方々に説明したい。
- ③ 畑地の造成にも着手しては町単圃場整備より率が良いので利用いただきたい。
- ④ 農業用機械の償却資産税は何とかならないか
青色申告者の場合、事業所得から使用している機械を減価償却で落としている。その額が一定額を超えると固定資産税として納めてもらっている。
- ⑤ 役場内で専門知識を持った人を養成しては
人事の異動が伴うので一つの係でいることは難しい。
- ⑥ 個人で植林が不可能な場合
貸借契約等で町が変わってできないか
対象面積を下げれば個人で

- も可能となると思うので研究してみる。
- ⑦ 町で老人ホームの建設を
運営方法等を研究しないと難しい。冬期間だけ入居する施設には国県の補助が出るので内部で話し合っているところである。
- ⑧ 老人は住民票を移した方が
良いという話があるが
生活の本拠地に住所を定めるがあくまで個人が決めることである。役場内でそのような話はない。
- ⑨ 小学校統合問題を早く解決してほしい
教育委員会の最重要課題であり、話を再度進めるべく準備している。地区の方々もおよその合意点を出していただきたい。
- ⑩ 町の財政状況は
交付税と補助金がほとんど、足りない分を借金でやりくりしている。
- ⑪ 国県補助の砂防事業の確保を
地すべり防止区域の申請を出したが決定までに段階があり手間取っている。指定を受ければ工事は順調にできる。

町民対話集會に一言

「身近な話が聞けたし生の声を聞いてもらえて大変良かった。担当課長が部門々々に分り易く教えてくれありがたい。来年も是非」

73歳・男・農業

「質問の内容が今一步。この土地に定着できるよう町民みんなの意識を変えなければいけない。集会のやり方はあれよりどうしようもないし、あれで良いのでは…」

60歳・男・農業

⑫過疎は町民の責任でもあるようにチラシに書いてあるが、そのような意味ではない。文章表現上まずい点はお許し願いたい。

⑬過疎克服のためにも国の農業施策に毅然とした態度を取るべきだ

町民を守るためにはきつぱりと発言してゆきたい。

⑭過疎歯止めの論議がもつと必要である

務める場の確保と工場団地の整備が急務である。子供たちを町に残すよう協力願いたい。

⑮農業を基幹産業と考えるなら基盤整備等にもっと思い切った施策を

町単事業の補助率を見直したい。

⑯林務で砂防工事を

一地域に二工事一緒にできないので終り次第要望してゆきたい。

⑰防火水槽の新設を考えているが

補助制度があるので可能であるが用地は地元で心配願いたい。

清水小が休校後の

利用法は

清水・会沢・桐山

8月23日
清水生活改善センター
46名

①芝峠のきのこ園を中心に町独自の観光の構想を

都市との交流を密にし人々が訪れる町づくりを目指したい。

②農道舗装にもっと補助を

圃場整備も含め補助制度を来年度に向け見直したい。

③冬期間保安要員の配置を

部落の実情を考え、町単等も含め真剣に検討したい。

④清水小が休校となるそうだがその後の利用法は

施設はそのままとし社会教育の場として活用したい。管理は鍵保管人を定めお願いしたいと考えている。

⑤過疎対策に松代本町近くに宅地造成と工場用地の確保を

宅地等考えているが相手のあることなので、すぐ解決できない状態、近い将来実現したい。

⑥芝峠に工場団地の造成は考えられないか

温泉が出た場合保養地とし

ての計画を考えている。

⑦松代・岡野町線の改良工事の進行状況は

桐山・清水間で用地も含め一億一千万円、蓬平で二千二百万円の手算がついている。

⑧国保税があまりにも高いが何とかならないのか

老人医療費について国の負担分を現行の倍額の40%に引き上げ保険者負担を少なくするよう上部団体を通じ陳情している。早期発見早期治療を心掛け、健康を維持していただく事も税の軽減につながるのでご協力を。

⑨町民の所得を上げるため仕事を提供し、金を取らせるような施策を

公共事業が下回らないよう努力する。若者の地元定着に町と共に協力していただきたい。

NHKのど自慢を

松代で

千年・池尻

9月25日
千年公民館
80名

①ゲートボール場を千年に造ってほしい

スキー場の駐車場を利用できると思う。

②北越北線開通後の構想は

首都圏と近くなり企業誘致、観光開発に力を入れ若者の定住を図りたい。

③スノーピー特急が何本かは松代に停車するよう働きかけを

電化高速化された北越急行

担分を現行の倍額の40%に引き上げ保険者負担を少なくするよう上部団体を通じ陳情している。早期発見早期治療を心掛け、健康を維持していただく事も税の軽減につながるのでご協力を。

⑨町民の所得を上げるため仕事を提供し、金を取らせるような施策を

公共事業が下回らないよう努力する。若者の地元定着に町と共に協力していただきたい。

「町政を身近に感じることができた。する、しないは別として地区の実情が分つてもらえたと思う。若い人が少なかったのは無関心だからじゃないかな」

69歳・男・農業

「かんじんな若い人の参加がないし高校生も参加できると良いと思う。町政が開けた感じがする。町民講座のテーマと合わせてみても面白いのではないかなと思う」

35歳・男・農業

案はあるが決定していない。
良い案があれば聞かせてほしい。

⑦国道改良の今後の予定は

今年度は測量・用地買収等、
二年度は切取り盛土工事と家
屋調査、三年度に橋梁建設と
家屋移転に入りたいと聞いて
いる。

⑧圃場整備済の畦畔修復に畦

塗機の導入はできないか
生産組合等で共同利用でき
るならば検討したい。

⑨県議等を招き対話集会を

知事は日程的に無理だが10
月27日に副知事が来町する予
定である。

⑩町道になった土地の登記が

遅れているが
更正図と現況が合わず登記
に手間がかかり思うようにで
きないのが現状である。

⑪石原線の農免道路早期着工

を
今年度は用地測量と買収に入
り完成までに七年位かかる。

⑫国道改良と併せ部落内に駐

車場を
用地を地元で確保していた
だけでは舗装は町でできる。

⑬松之山町との関係を将来的

にどのように考えるか

老人福祉施設、工場誘致、
高校問題等いろいろあるが、
広域的に考え両町で話し合っ
た中で検討し進めて行かなけ
ればならないことだと思う。
⑭若者の定着等明るい町づく
りを掲げているが具体策は
工場の進出等いろいろ話が

納税の口座振替は

できないか

儀 明

8月28日
儀明福祉館
58名

①町長として五年、十年先の
松代町をどのようにしたいか
総合計画に沿いやつてゆき
たい。働く場を確保するため
の工場誘致、観光開発により
都市との交流等で素晴らしい町
づくりを励みたい。

②内職者が安心して働ける補
償制度を
社会保険適用事業所であれ
ば何らかの補償制度があるの
だが…。
③貸農園等で都会の人を夏だ
けでも呼び人口を増やしたら
どうか
他町村でもいろいろやって

あるが用地の確保が問題とな
っている。今後も働く場の開
拓に力を入れてゆく。

⑮工場ができる前に若者を確
保するためUターン奨励金等
考えられないか
奨励金制度についても来年
度に向け考えてみたい。

いるし町でも計画を立て都会
との交流を進めたい。

④国保保険証の有効期間が四
月一日から八月末までの四ヶ
月であるが法律なのかそれと
も独自のなのか
電算化のため四月から新し
くしたが今年限りの暫定措置
である。九月一日付で毎年更
新となる。

⑤松代大島線の災害復旧でえ
ん堤を造り護岸改修を継続で
やると言ったがその後は
土木事務所に当時の話の成
り行きを確認してみたい。

⑥所得が記入された国保税の

納入通知書や医療費の内容が
書かれている通知書は回覧で
回されるため他人に知られて
しまう
役場内で検討し対処したい。

⑦納税の口座振替はできない
か
口座振替も可能である。改
めてPRするので協力願いま
い。

⑧農道舗装の補助率を60%か
ら80%に引上げてほしい。
農道舗装も町単制度を見直
し来年度から改正する予定。

⑨旧国道の舗装を前町長の時
にお願ひしたのだが
財源的に一時に全線舗装は
無理である。極端に悪い所を
部分的に順次やつてゆきたい。

⑩若者の活動が停滞している
が何か良い対策は
若者同志のグループ活動が
育てば村おこしの動きも出て
くると思う。

⑪結婚相談員制度をもう一度
見直し復活させたらどうか
課長会議等で話合ってみる。
経済的援助も個人的に考えて
いる。

⑫結婚祝金制度を作ったらど
うか

「初めての試みだったせい
か堅苦しく意見が出しづらか
ったですね。年に何回かやつ
てもらえば、ぎくくばらん
に話ができると思う。農業問
題に一番関心があり、米で生
活していけるようにしてほしい
と思います」

38歳・女・農業

「集まった人たちが高齢化し
ていて部落意識丸出し。若者
や婦人の意見も聞いてもらえ
るよう青年や婦人会単位にも
設定してみてもどうか。既存
企業を大切にするのと若者
対策の具体的な方策が聞きた
かった。課長はじめ職員も実
情がどういうものかもっと外
に出て勉強してもらいたい」

53歳・男・農業

貴重な意見として来年度予算で考えてみたい。
 ⑬水道料金が上が今後料金改訂するのか

山地のため施設の建設費と維持費に金がかかっている。町から六千五百万円繰入して

体育祭が

マンネリ化した

小荒戸・太平・菅刈・田沢

8月29日
 太平集落センター
 71名

①一億円事業で冬期保安要員を増員し老人世帯の援助を

一億円については町民の意見を反映し決めたい。保安要員の増員については部落の実情により検討したい。

②特産品として粟を作り粟餅を製品化したかどうか。山竹の竹の子のピン詰も喜ばれている

農協と協力し積極的に特産品づくりを考えてゆきたい。
 ③都会に出た若者の相談窓口を役場に作ることに帰省希望者に事業資金融資制度ができないか

貴重な意見として今後の検討課題としたい。

も高い料金となっている。
 ⑭来年も減反が増えるように報じられているが

今年の作況により減反面積が決まる。その節はご協力をお願いしなければならない。

④松代・松之山両高校の合併は考えられないか

松之山町民の感情もあり難しい。

⑤荒地をみんなの力で生き返らせ産業を興こせないか

同感であり町としても考えて行かなければならない。

⑥国道改良により高校付近の歩道が変則的となるが交通安全対策をどのように考えるか

将来的には信号機をつけるなりで安全を確保してもらおう。
 ⑦農作物を荒す野兎は禁猟となっているのか

有害鳥獣駆除の期間があるが狩猟免許を取れば可能である。

⑧鳥島クロカンスキーコースができ喜んでいくが循環できるようにするのか

農道補助事業で作ったもので将来循環できるようにしたい。

⑨体育祭がマンネリ化して今年限りという話を聞いたが

やめてしまえばそれまでの意見を出し合っていたのだき今後の方向付けをしたい。

⑩大学進学奨励金として百万円位無利子で貸与したり松代高校に工業科を作れないか

百万円は無理だが増額の方

向で検討している。工業科については生徒数も少ないので無理と思うが確認してみる。

⑪菅刈まで患者輸送の運行を

医療機関から遠距離の地区について運行している。菅刈への運行は財源や他との関連があり何とも言えない。

⑫田沢・菅刈間の圧雪をしていただきたい

機械力、路線との関連もあるので即答できない。

⑬国際結婚の成果はあったと思うが今後も嫁対策を

農業委員会を窓口につけていく。

⑭企業誘致も良いが地元で頑張っている人や企業に資金を

融資し育成してほしい。住民が儲かるために企業的感覺で指導できないものか

貴重な意見として伺い検討してゆきたい。

⑮水道料金が上が工場等は安くできないか

営業用は少し安くなっている。維持費がかかるため高料金となっているが、一般会計からも繰入れているので理解いただきたい。

役場職員の

採用は公平か

蓬平

8月31日
 蓬平集落センター
 58名

①各部落内道路の除雪を雪に強い町づくりを目指し

機械力の整備を図っている。現状は部落の入口までがやっ

「町の企画としては良かった。工場誘致、観光の話ばかりで百姓の出る幕はなかった。農業は田ばかりではない。園芸作物もあるし、土を大事にし荒してはいけぬ。この土地で生きる気構えを持つことだ。意見を聞いてもらうことはいいことだ。できるできないは別」

62歳・男・農業

「身近な話が聞けたので良かった。同じような意見しか出なかったのが残念。できれば年に何回か開いてもらえれば良いと思う。冬期間の老人対策をどうしていくかに関心がある」

62歳・男・理容業

とである。

②外国からの嫁さんに仕事をあつせんするなど相談窓口を役場に作ってほしい

農業委員会を窓口によつてゐる。係以外でも気楽に職員に問合せしていただきたい。

③縄が町の特産品として有望と思うが

町民の所得につながる物を考えていかなければならない。応援できる事は町としても援助してゆきたい。青刈稲は転作対応として良い方法だと思ふ。

④岡野町線の改良は現道改良以外反対である

県でも地域の意向を重視する考えている。

⑤十年後の人口は何人位と見るか。又、過疎対策は

総合計画では六千人を指標としている。就労の場の確保で人口減を止めたい。

⑥高卒者に地元就職への指導を

中学と高校の連絡協議会を通じて地元就労をお願いしている。町内企業巡りをやったが成果が良い方向に出なかった。

⑦高床式住宅を建てた場合、

一階部分の課税の高さ制限は

基礎として評価するだけで高さは関係ない。

⑧役場職員の採用は公平か

一次試験の後面接を行い決定する。採用は公平にやる。

⑨蓬平小の存続の見通しは

合意が得られれば松代小学校に統合したい。

⑩保育料は安くならないか

所得のある方に多く負担してもらおう仕組みになっている。

ご理解いただきたい。

⑪松代病院に外科医を呼んでもらえないか

病院長とも相談し県にも陳情したい。

⑫獣医が町にいないので牛が病気の時に困っている

どこでも獣医不足で困っている。農業共済合併問題でも獣医問題が一番の問題で協議しているところである。

室野城山とダムで

観光開発を

福島・奈良立

9月1日
福島集落センター
54名

①大蔵寺高原と菖蒲高原に室

野・福島林道を接続し室野城山とダムを観光の拠点としたらと考えるが

林道がつながることによりゾート重点地区が直結できれば室野城山周辺の開発が可能となる。

②福島橋の除雪をやってもらえないか

県道に近いが県の除雪車なので難しい。

③林道舗装を継続してやって

いただきたい

急勾配の所を主にやってきた。財政的に検討してみないと何とも言えない。

④室野の流雪溝の工事用道路を農道に利用したので残してほしい

設計が出来ていないので未定だが検討してみる。

⑤向沢の災害復旧の所の治山事業をやしてほしい

現地調査し県単でできれば対応したい。

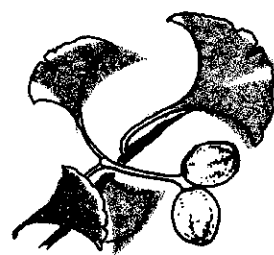
⑥老人医療費は国保も社会保険も同じなのか

老人医療費はどこも同じが負担の方法が違う。国保が一番多い医療費を抱えて困っている。国の負担分を多くしてもらおうよう陳情している。

⑦雪国快適環境整備事業の計画では投雪機二台となっていたが計画どおりか

事業費が縮小されたが計画どおりである。

⑧ミニダムの構想を伺いたい
地元の要望を聞いて計画してくれるとの事で活用方法を検討していく。

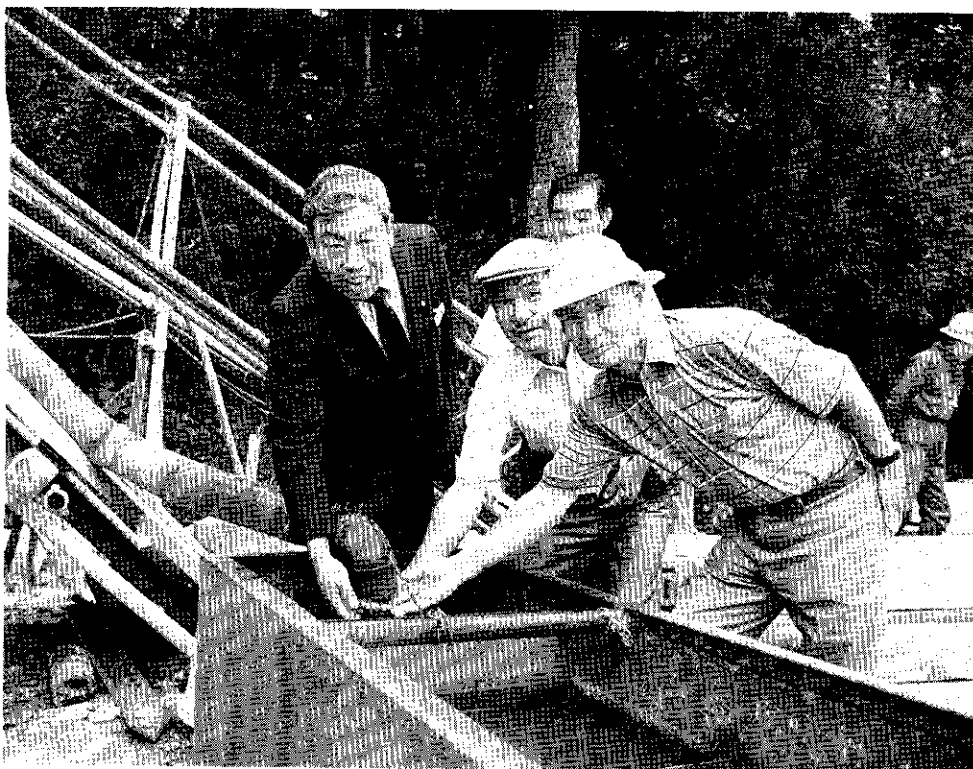


「直接町長の考えていることが聞けたし、自分が聞きたいと思っていた事の他にもいろいろ教えてもらえました。かしこまらず気楽な雰囲気良かったですね」

27歳・女・銀行員

「似通った質問ばかりだった。過疎と農業問題に具体的な答弁が聞けなかったのが残念。専業農家でやってきたが農業でやって行かなくなつたので、来年、上越に出て行くことにした」

72歳・男・農業



▲ 手でお湯を確認する関谷町長と須崎さん兄弟

「堀れば出る」と言われていた蓬平、芝峠の温泉が二年

間がかりの掘削の末、九月中旬、ようやく期待に応え噴出した。

芝峠で待ちに待った温泉が噴出

毎分21ℓ
湯温27度

掘削は須崎さん
開発と利用は
松代町で

しました。

芝峠では昭和二十七年ころ石油掘削を目的に掘っていたところ、多量の温泉が噴出。当時の町の財政ではこの温泉を買い上げるだけの余裕がなく、そのままコンクリートで蓋がされたと言われています。町の活性化に温泉の掘削をと言う声は以前からありましたが、しかし、出るか出ないか

▲ 空気圧で勢いよくお湯が出る



分らない温泉に貴重な町のお金を注ぎ込むことはできないということで掘削は今日まで見合われてきました。

そんな折、「町に変わって私が温泉を…」という人が現われたのが昭和六十二年の夏。この人は名古屋市に住む実業家で須崎鹿三さんと治吉さん兄弟。小堺光彰さん（儀明）の弟さんが同市内で経営する喫茶店で芝峠の話聞き、「町のお手伝いができれば…」と温泉掘削を思い立たれたそうです。以後、須崎さん兄弟と町の間で話が進められ、掘削費用と土地の取得費用は須崎さんが、利用法と計画は松代町で、との内容の契約が年末に交わされました。

去年五月三十一日の起工式の後、六月六日から本格的に掘り始め、八月中には目標の八百ℓに達する予定が予想以上に土質が悪く、十一月十九

日によりやく八百二十二ℓに。この地点での自噴量が毎分六・七ℓ、温度十四・八度と予想外の結果。須崎さんとの協議により今春千ℓまで掘ることと作業を中止しました。

今年四月二十日、更に二百ℓ増掘を俤日さくと再契約し、五月十一日から掘削再開。しかし、七三〇ℓ地点での落盤によるセメント注入、七五一一ℓ地点で掘削角度の変更等の難航に次ぐ難工事と八九五・五ℓの地点で岩盤層に当たり掘進困難になり、八月十九日作業を終結しました。

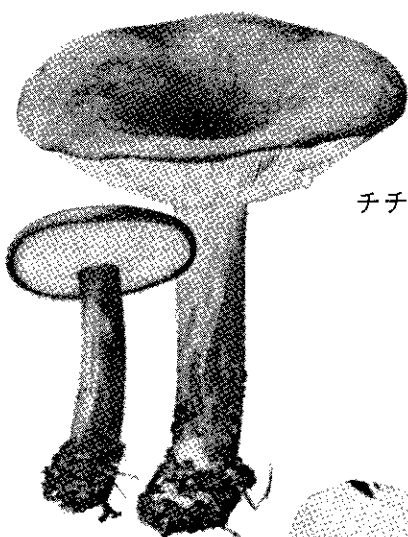
九月十九日現在の揚湯量（管内に空気を送ってお湯を出す）は毎分二十一ℓ、湯温二十七度と量、温度ともに物足りない状態。しかし現場での簡易試験と上越科学センターでの分析では十倍に薄めても使用可能と言われており、今後の分析結果に期待したいところです。

町では今後、排水設備、幹線道路、水道等の整備を早急に行い、観光に向けての開発計画に着手していく考えです。

キノコ 雑談

今年のキノコ

折りにふれ、キノコを探しながらあの山あいの林、ときには他県まで歩き回ることの多いこの頃だが、その都度「変だなー、今年は……」と首を



チチタケ



ツチカブリ



美濃和 英

ひねることが多い。それというのも今年のキノコの出かたが例年と大きく違っているからである。今ごろ(九月下旬)でもいいキシメジ科(モグシなど)やフウセンタケ科のズベラボウなどのかたが悪

い。そのかわり、どの林に入っても白い乳液を出すチチタケ(食)や大型で白いツチカブリ(食不適)Ⅱ写真左Ⅱクサハツの仲間(不食)、美しい朱赤色のしたドクベニタケ(要注意)などのベニタケ科のキノコがやたらと我物顔で林を占有している光景が目につく。従って、一時間も林に入ればチチタケがドツサリと採れ、それから二三日というものはあの手この手で料理をし、朝な夕なにチチタケを食べなければならぬ羽目になる今年のこの頃である。

元来ベニタケ科のアイタケ(食)チチタケ(食)クサハツ(不食)などの仲間は、比較的早生種といわれ八月下旬から九月上旬頃が最盛期である。ところが今年は「出遅れ現象」である。この現象は松代近辺だけでなく九月中旬長野県の奥志賀へ行ったときもやはり同じ現象のため狙った代物はほとんど姿を見せていなかった。

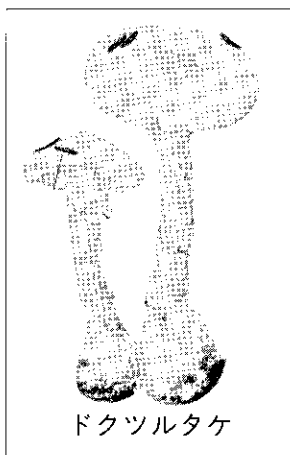
この原因についていろいろと言う人もおられるが今のところ定かでない。

毒キノコに注意

毒キノコか食用になるキノコかを簡単に見分けられるうまい方法がないというのが定説である。従って毒キノコを一つ一つ覚えていくより仕方がない。特に猛毒といわれる

①ドクツルタケ

名前の通り全体が純白で鶴のようにスラツとした美しいキノコである。



ドクツルタケ

キノコ(そう数は多くない)だけはしっかり覚えたいものである。そこで松代町近辺によく発生している毒キノコの中、特に注意を要するものといえは大体次のようなものである。

しい顔をして、恐いことを平気でやって

のける妖婦、外面菩薩の如くして内面は夜叉の如し」といったのを思

い出す。外国でも「殺しの天使」と悪名がついている程で松代地内至るところの林で見かける。

全体が白くて茎にツバと根元にツボのあるキノコには猛毒が多いのでご用心!!

②ツキヨタケ

扇形をした大型のキノコで暗い所に置くと青白い光を出すことで知られている。

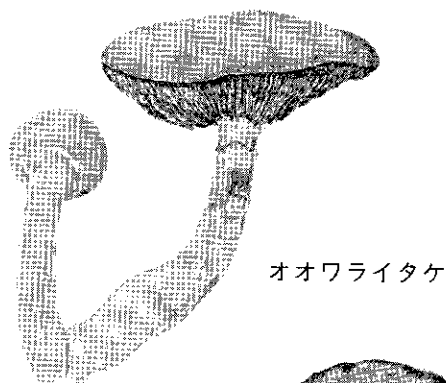
秋ブナの枯木に大量発生し

毒々しい色もしていないので中毒することが多い。浦田の深山(野々海峠)のブナの木に大量発生しているのをよく

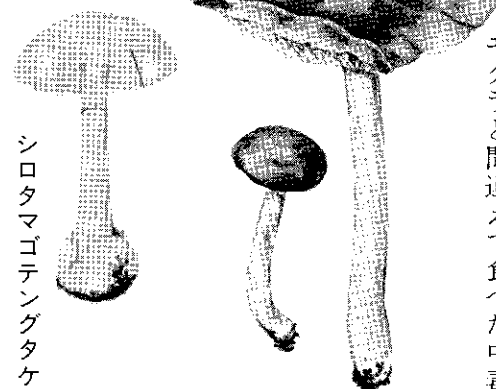
見つけ、その壮観さに目を見張ることもある。そして「これが食べられたらなー」とうらめしそうに眺めた経験を持つ人も多かろうと思われるキノコである。ワカエとよく似ているが根元を裂くと黒いシミがあるので、簡単に区別できる。

③ オオワライタケ

林に入ると黄金色をした大型のキノコが株状になって出ているのを見かけることがある。これを食べれば神経が興奮状態になり、歌いわめき、笑いつけるというオオワライタケである。命に別状はないのでアフリカのある地方では目出度い席に少し食べ、陽気に歌いそして騒ぐともいわれているし、今昔物語に尼さん数人が山中でワライタケを食べ、踊り狂いながら歩いていたという話がある。



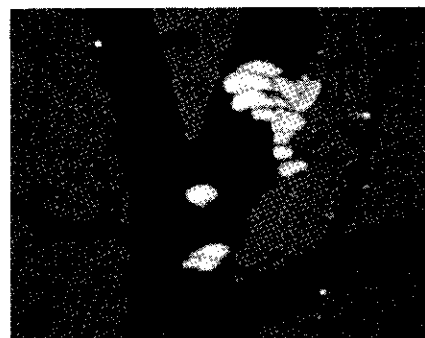
オオワライタケ



シロタマゴテングタケ

クサウラベニタケ

④ シロタマゴテングタケ
ドクツルタケと兄弟分のキノコで全体が真白で美しい。ただドクツルタケに見られるようなササクレが茎にないの で区別できる。一見紳士風に見えるこのキノコも二、三本が死致量といわれ、猛毒菌の三羽ガラスの一種である。



ツキヨタケの発光

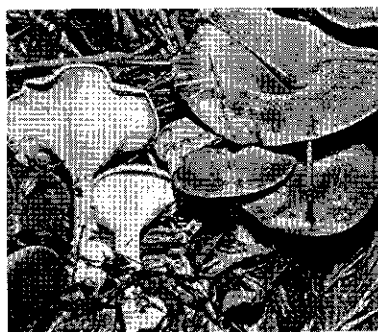
⑤ ドクササコ

以前は発生地がある程度限定されている毒キノコともいわれ特に本郡での発生と中毒が多いとされていた。けれども最近は各地で採集され、昨秋長野県の斑尾高原で大量に採集したとの便りも届いている。私も昨年十月中旬安塚町石橋地内の孟宗竹の林で約4kg採集し、北海道大学理学部へ送っている。中毒は死にいたることはないが、その苦しみのため自殺さえする者もいるという恐ろしい毒キノコである。昭和三十年代に大伏で中毒患者がでており、昨秋は大島村田麦で一家二名が中毒し、約二ヵ月入院している。共にモグラと間違えて食べた中毒

であるが、ドクササコは主に竹林とか笹のあるところに発生し、また根元に落葉などが付着しているのでナラタケ(モグラ)と区別できる。

⑥ クサウラベニタケ

「縦に裂けるキノコは食べられる」と信じている人も意外と多いのではないかと思われる。このクサウラベニタケもキレイに裂けるが毒キノコである。そのうえ色も派手でなく、一箇所で大量に採れるので中毒例も多い。一般的にヒダがピンク色か肉色をしたキノコやオツパイの頭(乳首)のようにかさの中央がより上っているキノコは用心した方がよいといわれている。クサウラベニタケもヒダがピンクから肉色になるキノコである。



ドクササコ

間違った鑑別法

現在野生キノコで名前のついているのが約千五百種といわれている。そのうち猛毒菌数種を含め毒キノコは、わずか四十種ぐらいである。

昔から毒キノコの見分け方に、○縦に裂けるキノコは食べられる。○毒キノコは色がきれいで、食べられるキノコは地味だ。○においがよければ食べられる。○ナメクジが食べていけば毒でない。○銀のさじが黒くなれば毒。○油でいためれば食べられる。○塩漬にすれば毒が消える。○ナスと一緒に煮れば毒が消える、など言われているが、それらは全く当てにならない迷信であって、信用すると大変なことになる。

毒キノコの見分け方だが簡単に重宝な方法はないので、確実に毒キノコを一つ一つ覚えることと、「たばれそうだ」「うまそうだ」の判断で食べないことが何より大切である。

松代町の鳥

シリーズ 32 ヤマドリ

松 永 洸

ヤマドリを知らない人は少ないと思います。しかし松代町では非常に少なくなっている野鳥で、筆者は、一九八六年（昭和六十一年）三月に訪平地内、一九八八年（昭和六十三年）十月に松代城跡公園でそれぞれ一羽づつを観察しただけの鳥です。普通新潟県では標高三百メートルから二千メートルの間に生息していますが、県全体では猟期（毎年十一月十五日から翌年二月十五日まで）に、キジより多く捕獲されているようです。

本種は、キジ目キジ科に分類されていて、生息する地域により色彩が異なり、五亜種からなっています。本州北部のものはキタヤマドリ、本州西南部、四国のはシコクヤマドリ、本州南部、四国愛媛県より南部はウスアカヤマドリ、九州南部、熊本、宮崎、

鹿児島はコシアカヤマドリ、九州の北部及び中部の熊本県北部、宮崎県北部はアカヤマドリと分けられていて、新潟県ではキタヤマドリが生息しており、松代町のヤマドリは、キタヤマドリということになります。全体的にはキタヤマドリが一番減少している亜種といわれています。

ヤマドリの形態は、雌雄異色で、雄は全体が赤銅色、背、翼、胸、腹には白色の羽縁があるために頭、首が最も色が濃く見えます。尾はだれでも知っていますように、長くて灰白色の地に黒と赤褐色の横じまがあります。この横じまは「節」とも呼ばれており、昔は十四節もある長い尾を持った雄もいたということです。現在では十一から十二節、多くて十三節のようです。また日の周囲は赤くなっています。

雌は雄より小さく尾は短かく、キジの雌に似ていますがキジより赤味の濃い色をしています。雄は全長百二十五センチメートル位、雌は五十五センチメートル位で尾の長さ分位ちがつています。鳴き声は、ほとんど鳴きませんので聞いたことはありませんが、図鑑などによると、コココ又はククツという低い声のほか、雄はチュイッと鋭い声で鳴くとも記載されています。他の鳥のようにサエズリというのは持たず、そのかわり遠くまで聞こえるように翼をはばたいて、ドドドツとかドロロ、ポロロロなどと聞こえるドラミングを行ない、このドラミングを人間は「ホロ（母袋）うち」と呼んでいます。

鳥の観察を始めてから三、四年になりますが、このホロうちを数回しか聞いたことがあります。雑木林で一人静かにカラ類の観察をしている時に、このホロうちを耳にするとビックリしますが、その後のカラ類のささやくような鳴き声と対比的に印象に残ります。

愛

献血を

ありがとう

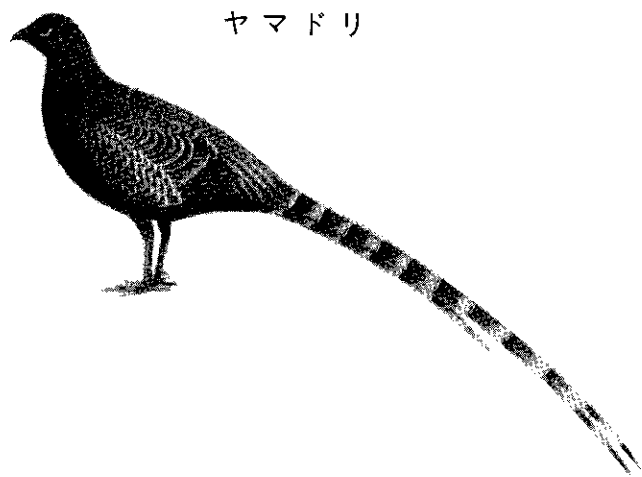
太字は400ml献血者

9月2日 役場前 松代高校

次回は十一月一日（水）

役場前広場 午前10時～午後3時

佐藤 山岸 伊藤 佐藤 大野 小堀 相沢 市川 柳 恩 佐藤 関谷 柳 小野 沢 数井 増宮 小野 野沢	文一 宗雄 進郎 賢月 子享 美子 進一 幸一 達治 勇夫 静和 代弘 松守 雅行	雄良 雄進 郎子 子子 子進 一治 勇夫 静和 代弘 松守 雅行	岡布施 久堀 柳 池田 米持 高橋 原富 小佐藤 武田 仲村 菊池 中島 関谷 数井 若関 谷柳	一行 満男 紀一郎 秋江 子雄 一等 正司 蔵夫 夫雄 学功 欣一 憲美 總佳 子珠	菅井 柳 佐藤 池田 齊関 垣古 沢賀 苗柳 小柳 山岸 山本 池田 佐藤 小野 関谷 柳	菅井 柳 佐藤 池田 齊関 垣古 沢賀 苗柳 小柳 山岸 山本 池田 佐藤 小野 関谷 柳	文良 和正 直美人 敏保 博之 健吉 宏直 麻和 美和 子聡 明清	関谷 佐藤 五十本 吉野 米持 山口 本関 谷若 相沢 宮沢 小高 橋小 松鈴木 鈴木 関谷 丸相 沢高 橋	恵一 貞博 昭一 熊夫 聡子 和美 加子 政秀 一重 夫明 子美 江正 男樹 志	若山 小堀 樋口 村松 柳 鈴木 斉藤 関谷 牧高 橋鈴木 宮沢 佐藤 熊関 谷佐 米西 菅井 市川 市川	淳三 正津 代美 恵子 久美 修一 誠有 子み え子 典武 正人 八郎 紀子 利陽 子代 嘉太郎
--	---	----------------------------------	--	--	---	---	-----------------------------------	--	--	---	--



ヤマドリ

本種の生息環境は、スギ、ヒノキの多いところや、沢水がありシダ類が多くはえている灌木林を中心に生息し、キジと同じ仲間ですが、水を好み、ややしめったところを求めて生活しています。餌も住んでいる範囲内できり、植物質中心で、キジより多くの種類を探ることが知られており、その一部を紹介しますと、ジシバリ、カヤ、ササ、ノビエ、ヒエ、タケ、ノイバラ、サクラ、ヤマブドウ、ノブドウ、ハゼ、ヤマウルシ、ヌルデ、

イタドリ、ギシギシ、ヤドリギ、スギナ、リンドウ、ユリ、ウバユリ、アケビなどありとあらゆる植物の若芽、葉、種子、核果、漿果、果実などを食べ、外に動物質として各種昆虫類、クモ類、マイマイ(カタツムリ)、ナメクジなども食べます。餌のとり方は地面では、キジと同じようですが、ブナなどに寄生したヤドリギの実を食べる時や、高い木の上の実などは、付近の地面から飛び上がるのではなく、遠くの山から直飛して木に止まり採餌するのです。ヤマドリは一夫多妻で四季を通じて群生活をし採餌も群で行ない、時には一本の高木に何羽も止まって餌を採る風景も見られます。

繁殖は林内の木の根元や石の陰、草むらなどの地上に直径二〇センチメートル、深さ九センチメートルの穴を作り針葉樹、広葉樹の葉や枯草を敷き、七、十三個の淡黄褐色、無斑の卵を産み雌だけが抱卵します。雛は飼育例では二十四日かえりますが自然状態でも同じ位の日数がかかると思います。松代町のヤマドリは猟友会松代分会が、キジの放鳥にかえてヤマドリを放鳥しており、一九八八年十月に松代城跡公園で観察した個体は放鳥したヤマドリの中の一羽ではないかと思ひます。松代町の自然状態ではキジの放鳥よりヤマドリの放鳥が適切であると思われ、今後とも続けてもらいたいと思ひますし十年位は禁猟にして欲しいと思ひます。そして松代町の古老が、「昔はヤマドリがたくさん住んでいた」と語ったように、近い将来松代町がヤマドリの豊庫となる日を夢見て、若山牧水の歌で、この項を終わります。

足もとの

落葉がなかゆ

まいたちし

山鳥はゆく

木の根を低く

秋季火災予防運動

10月26日～11月1日

『おとなりに

あげる安心

火の始末』

●火災予防の留意点

一、ガスや電気器具の使用後と外出時及び寝る前には、必ず火の元点検を習慣づけること。

二、室内の整理整頓をする。

三、消火用バケツ、消火器などの消火用器材の準備と取扱い方法を習熟しておく。

四、初期消火の知識を身につけておくこと。

五、通報マニュアルを作成しておくこと。



●火の用心七つのポイント

一、寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。

二、子供は、マッチやライターで遊ばせない。

三、風の強いときは、たき火をしない。

四、天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない。

五、家のまわりに燃えやすいものを置かない。

六、ふろの空だきをしない。

七、ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

中

※消防署では、いつでも防火に関する講習会を受付けています。お気軽にご相談下さい。

長寿と健康を祝福

敬老の日を前にした去る九月十四日、関谷町長と若月社会課長は満百歳になった小堺ハナさん(儀明)、今年十二月に九十五歳になる石沢昌美さん(海老)と結婚六十年を迎える小堺又七・セツさん夫婦(蒲生)宅をそれぞれ訪問し、長寿と健康を祝福しました。



百歳の小堺ハナさん



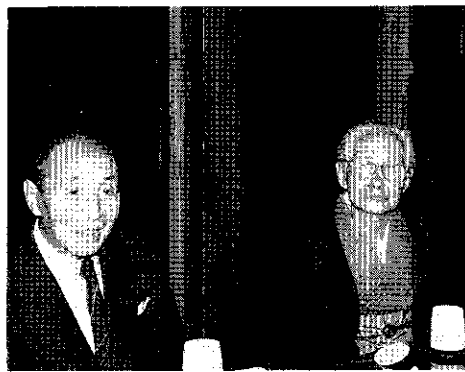
九十五歳の石沢昌美さん

この日は後藤東頸城社会福祉事務所長もお祝いの品物を携え祝福に訪れました。ハナさんは高齢のため足が弱り、一人で歩くことができないため、ほとんど寝たきりの毎日です。大勢のお祝い客に囲まれた中で、歌が好きだということと歌の催足をされると元気な声で一曲披露するなど、昨年お祝いに上った時と少しも変らぬ元気に驚かされました。(写真)

一見してどうみても九十五歳になるとは思えない若々しさ。長寿の秘訣を「精神的な悩みを持たず、食事に気をつけ、毎朝五分間の運動を欠かさないこと」と話されました。「杖があれば今でも一里くらいは歩けるよ」と、これには町長も驚きの様子。

ところで石澤さんは「故郷の鏡」と「海老郷土誌」を自筆製本するなど町の「生き字引」の一人でもあります。「百年の歩み」を書き始めたとい

う石澤さんの脳に年齢など関係なし。益々知識が広がっていくようです。



結婚六十年
小堺又七・セツさん

「お互いの立場を認めることが仲の良い秘訣」と又七さんが話されるとそばでセツさんが「おめられてばかりで、あんまりいいじゃないや

ないで(笑)」。

このお二人の話を聞き、後から考えてみるに「お互いに十分知り尽くしている」と改めてナットク。

「一緒になった年に婚・努めで黒倉に行った日、蒲生の大火があり、走って蒲生まで帰っ

て来た」のが一番の思い出。今は自宅の前の少しばかりの畑を二人で耕やし、健康な毎日を過ごされています。

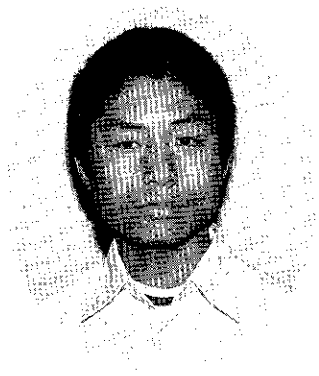


平成元年度松代町長寿者番付表

(9月15日現在 敬称略)

西					東				
氏名	部落	生年月日 (明治)	満年齢		氏名	部落	生年月日 (明治)	満年齢	
室岡 マツ	仙納	25.7.17	97.1	横綱	小堺 ハナ	儀明	22.2.5	100.7	
植木 タマ	松代	27.3.24	95.5	大関	中村 スギ	松代	25.7.25	97.1	
山本 オキ	孟地	29.4.15	93.5	関脇	石澤 昌美	海老	27.12.22	94.8	
山岸 亀太郎	片桐山	30.1.17	92.7	小結	山本 ハツ	犬伏	29.9.25	92.11	
柳 カツ	犬伏	30.4.18	92.4	前頭	市川 藤一郎	田沢	30.1.17	92.7	
井上 ツヤ	寺田	30.7.20	92.1	2	佐藤 儀勝	室野	30.6.24	92.2	
鈴木 ヒサ	松代	30.11.23	91.9	3	小堺 ヤス	蒲生	30.7.30	92.1	
島田 マサ	千年	31.6.24	91.2	4	若月 彌太郎	海老	31.2.26	91.6	
池田 ハツヨ	田野倉	32.1.8	90.8	5	菅井 光宗	松代	31.12.21	90.8	
樋口 イシ	松代	32.4.7	90.5	6	村山 ナミ	室野	32.3.18	90.5	
松山 セン	犬伏	32.7.14	90.2	7	柳 仙太郎	千年	32.5.29	90.3	

松代高校校内弁論大会最優秀賞



明るい将来のために

一年 小堀英明^{さん}(蓬平)

都会から山に遊びに来た人がよく、本当にここはいい所だ、などと言います。一日や二日、テントをはって山の景色を見たり、虫を捕まえて遊んでいけば真からいい所だと思ってしまう。ところが三週間、四週間そこにいる、となったらどうでしょうか。まず困るのが食糧でしょう。山へ住んでいる我々ならいざとなれば、山いもでも、栗でも、山菜でも季節にできる自然の食糧を探して何とかなるだろうと思います。そんな知識もない都会の人が山へ行くと毒キノコを食べたとか、がけに落ちたなどとなるのです。さすがに都会の人が山で三、四週間、テントで暮らすとなる

と苦しいと思いますが、それでも二週間もいればいやがさしてくるのではないでしょう。すると、都会の家が恋しくなると帰りたいくなる、二週間いたなら二週間前の山に對する感想を比べてみると大分ちがってくるんじゃないかと思ひます。どこから、山へ来た人なんて皆そんなものじゃないでしょうか。ほんの一、二日いるなら別ですが何十日も何年もいるとなるとよっぽど心を決めて来るか、知識のある人でないと無理じゃないかと思ひます。逆に山に住んでいる人が都会に行ったかどうか。僕は死ぬかもしれない。汚ない空気なんてわざわざ吸いたく

ありませんし、高層ビル等が邪魔になり日が当たらないなんてとんでもないことです。でも都会の人が今日、生活を営んでいるということは体がそれに反応し、対応できているということになりそうです。つまり、今住んでいる所が自分にとっては一番の場所なのではないでしょうか。人間は生きる上で生活しなければなりません。故郷は自分が生まれて、そして育った場所です。自分の人生の形の基をつくる場です。それなのに恩知らずともいふべき者がどんなに出ていきます。正当な理由なくともかく、ここに居たくないなんていう無慈悲な者がいるのです。一度は出てみな

くてはならないといいますが、一度出たきり帰って来ないなんていうのは少なくはないのでしょうか。しかし、前で述べたようにやっぱり自分の故郷がいちばんだと思つて、もう十年もたてば皆帰つて来てくれるのでは、と思ひます。働く所がない、と言つて出ていく人がいますが、さし当たつて松代町には、製造業の業種が十あり、会社数は合計二十二社もあります。その他、商業もあるし、農業だってあるのです。働く場なんていうのは、いくらでもある、とまでいかななくても、あることはあるのです。

要は本人の故郷に対する気持ちだと思ひますが、心からこの松代町をよくしたいと考へている人は少ないのではないのでしょうか。

今はまだ六千人前後の人口が全部いなくなるなんてことは考えられませんが、十数年後、もう数十年後、この町がどう変化するかは、興味がありませんが、万一、なくなりてもすれば、この町を築いてきた方々に申し訳がなさすぎるというものです。それに、町から出た我々にとつても自分の生まれ故郷をなくすわけですから、かやぶき屋根がトタンに変わったところではないでしょう。だから、活性化問題は真剣に取り組むべきだと思ひます。それには、一定の人ばかりが話し合うのではなく、町民全員が参加して、一人一人に松代町の町民であることに認識させるべきです。そうすれば、今までただ何となく生活してきた人達も、参加したことによつて、少しは町に對する意識が変わつてくれるのではと思ひます。そういう人達が多い町や村程、活気にあふれているのではないでしょう。か。

まずやらねばならぬことは、町民全てに、町民なんだぞ、という認識を高めさせることから活気あふれる町へ発展させていく一歩だと思ひます。『おれがやらねば誰がやる』位皆が意志をもつたとき松代の将来は明るいといひたいようがないであらましよう。

国民年金に加入していますか

二十歳以上六十歳未満で日本国内に住所があるすべての人が、国民年金に加入しなければなりません。

加入者は、次の三種類に分けられます。あなたは、何号被保険者かご存知ですか。もし、加入していなければ、すみやかに手続きをしましょう。

◎第一号被保険者



国民年金の保険料は今年の4月から8,000円になりました。

- ・農業や漁業、商工業などの自営業で給与所得者でない人
 - ・サラリーマンでも厚生年金に加入していない人
 - ・無職の人
- 手続きは、役場の国民年金係で行い、保険料は、自分

で毎月納めていきます。

◎第二号被保険者



国民年金の保険料は厚生年金などの保険料に含まれます。

◎第三号被保険者



国民年金の保険料は納める必要はありません。

- ・第二号被保険者に扶養されている配偶者(健康保

険の被扶養者の基準を参考にして決められます)手続きは、第二号被保険者の勤務先で被扶養者としての証明を受け、役場の国民年金係に届け出してください。保険料は、第二号被保険者の加入している年金制

**町税などの納入は
便利な口座振替制度を
ご利用下さい。**

町税等公金納入につきましては、平素からご協力いただき厚くお礼申し上げます。

町税等の納入については、部落嘱託員さんを通して現金納入する方法と納税者の口座から自動的に引落ししている口座振替方法の二つの方法により納入していただいています。

つきましてはこの口座振替制度を希望される方は、金融機関の手続が必要ですので、貯金通帳の口座番号を確認して、印鑑を持参の上税務課へ手続においで下さい。

なお、取扱の金融機関は、第四銀行松代支店
まつだい町農業協同組合

度から支払われます(給料からも天引きされません)から、個人で納める必要はありません。しかし、届け出を忘れると、将来、年金が受けられなくなることもありますので、ご注意ください。

です。
問い合わせは税務課まで

ごぞんじですか

検 察 審 査 会

皆さんの周囲でも、交通事故、詐欺、おどしなどの被害にあつて警察や検察庁に訴えたが、その事件を裁判にかけてくれない(これを「不起訴処分」といいます)ので、どうも納得できない。こんな不満をお持ちの方はいませんか。泣き寝入りしない

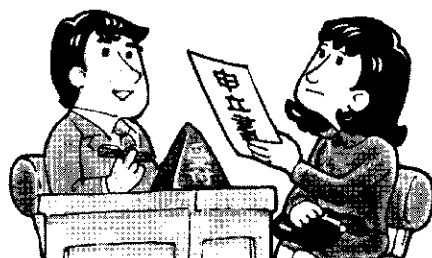
で、検察審査会事務局に遠慮なくご相談ください。

検察審査会は、選挙権を有する国民の中から、「くじ」で選ばれた十一人の審査員が国民を代表し、住民として健全な良識に従って、検察官の不起訴処分を調べなおしてくれる民主的な国の機関です。

審査の申立てには費用は一切かかりませんからお気軽に利用ください。

◎最寄りの検察審査会は
上越市大手町一―二十六
新潟地方裁判所高田支部構内
高田検察審査会(☎0255
(24)5160)

検察審査会
事務局



くらしにやくだつお●んぷんはぐろしにや●だつお●んぷんは

「明日の雪とくらし展」

冬を快適に 手をつなごう 雪はともだち

雪対策は、行政や関係機関が長期的、総合的に推進するとともに、一人ひとりが自らの問題として取り組んでいかねければなりません。そこで、「冬を快適に、手をつなごう 雪はともだち」をテーマに、「明日の雪とくらし展」を開

催し雪に強い郷土づくりを目指そうとするものです。

日時
10月28日(土)午前10時～午後5時、29日(日)午前10時～午後4時
会場 十日町市クロス103

行政相談週間 十月十五日～二十一日

あなたの一言が 社会に生きる

国の行う仕事で、問題が起きたとき、要望や苦情・意見を住民から聴き、その解決を図ることを目的としているのが、総務庁の行う「行政相談」です。また同時に、窓口に寄せられた意見を、その後の行政運営に生かす役割も担っています。

つまり行政相談とは、わたしたちの暮らしをより良くするための「苦情救済」と「公聴サービス」の担い手であると言えます。

行政相談委員とは

行政相談委員は法律に基づいて総務庁長官から委嘱された民間の有識者で、全国の町村に必ず一人います。

松代町の行政相談委員は、本山礼子さん(松代・長命寺 7-2033)で、相談は無料、匿名でも受け付けています。相談方法は口頭、電話、手紙のいずれでもかまいません。相談内容は、道路、交通安全、環境衛生、年金関係など生活に密接にかかわる事柄を幅広く取り扱います。いわば国民と行政の「パイプ役」でもあるのです。

内容

- ・「雪対策」むかし、いま、そして明日
- ・これが新しい！ 冬用品

バスケット大会

参加チーム大募集

日時 平成元年十一月十二日 午前八時三十分～
会場 松代町総合体育館
対象者 中学生以上
申込先 総合体育館事務室 (7-3752)
参加料 一チーム 二千元

※当日、小学生による練習試合(ミニバスケットボール)が行なわれますので応援してください。

対戦チームは十日町チームです。(予定)

高齢者

雇用促進月間

労働省では、毎年十月を、「高齢者雇用促進月間」と定め、広く社会一般、とりわけ事業主の皆さんのご理解とご協力を求め、高齢者の雇用を一層促進する運動を展開し

の見本市

- ・楽しさ満開！ 雪国のあそび 他
- ・入場は無料です。

てまいります。ご協力をお願いいたします。



高齢者雇用促進月間

夕暮れ時の交通事故防止運動

10月21日(土)～11月10日(金)

夕暮れは
ライト早めに
安全運転

共同募金

10月1日～12月31日



思いやりは
きっと返ってくる。



島田前助役

町に五〇〇万円を寄付

— 松代中学校に島田文庫創設 —



前助役の島田健司氏(写真)
がこのほど町に五百万円の寄
付をされました。

島田氏は「教育長として長
い間、町と学校のお世話にな
った。そのお礼として

是非町内の学校の図書
の充実を」と申し出ら
れたもので、町では島
田氏のお気持ちに添え
るよう検討した結果、
一校に統合された町の
中学校に「島田文庫」
を創設することといた
しました。そしてご寄
付をいただいた五百万
円の内、百万円で棚と
本を整備し、残る四百
万円を基金として積み

たて、来年度以後順次図書を
購入し充実した「島田文庫」
となるよう計画し、先の議会
で承認されました。
町では病気療養中の島田氏
が一日も早く健康を回復され
ることを願うとともに、温か
な善意に対し感謝状を贈り、
感謝の意を表しました。

島田氏の善意が小堺又七さん
から渡される。



アメリカの先生と

歌って踊って楽しい交流

蒲生・寺田・北山・蒔平・蓬平の小学校児童

度訪問しました。

今回訪問したのは(写真右
から)、マーサ・バインさん(高
校美術教師)、トム・フェ
イトさん(同演劇)、ジェフエ
リー・パッチェンさん(教育省
・団長)、マーゴット・フォ

日本とアメ
リカの芸術教
育の交流を図
るために来日
していた、ア
メリカのイン
デアナ州の一
行五人が八月
末、蒲生小学
校(古田洋治
校長先生)を
春に次いで再

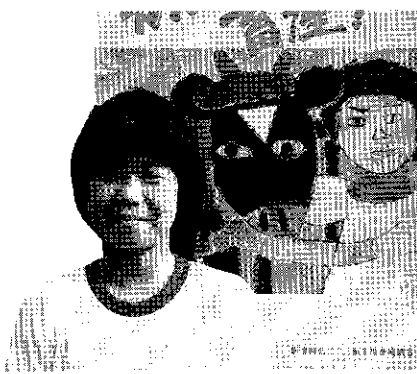


「ジョー・アグイン」と英語
で話す、井上真吾君

モグタンの絵がポスターに

蒔平小 池田さつきさん

県の低コスト畜産推進協
会が作ったポスターに、蒔平
小の池田さつきさん(当時二
年)の絵が採用されました。
「ガンバレ畜産」と大きな
字で書かれたこのポスターは



再来年四月から牛肉の輸入自
由化が始まるのを前に、畜産
農家が「うまくて安全で安い
牛肉の生産をアピールする
ために作られたものです。
さつきさんの書いた絵は、
二年前、蒔平小が「三頭の子
牛と九人の子供たち」で全国
的に話題となった時に牛の絵
コンクールで入賞となったも
の。「モグタン」をなでてやっ
ているところ」を書いたそう
で、ポスターをバックに「何
でもパクパク食べるモグタン
が大好きでした」となつかし
そうに話してくれました。

トさん(中学舞踊教師)、ド
ロシー・キタカさん(小学校音
楽教師)の五人で、まず、昼
食会場で蒲生小の児童十二人
から英語の歌で歓迎を受け、
同校自慢の給食を食べながら
交流をしました。

午後からは、北山小、蒔平
小、蓬平小と寺田分校の子供
たちも集まり、それぞれの先
生方が教えていることを通訳
を通して指導してもらい、初
めて会うアメリカの先生たち
と一緒に歌ったり踊ったりと
楽しい時間を過ごしました。
最後に二列に並んだ子供た
ちの中で一人ひとり握手する
先生に「サンキュー」「グッ
バイ」と子供たちが声をかけ
ると、うれしそうに「グッパ
イ」と答えながら小さい手を
しっかり握っていました。

ひと

農家の「良さ」を

伝えよう

佐藤幸栄さん (滝沢)



農家の後継者不足というけれど、私が思う対策のひとつは、親が農業の良さというものを、もつと子供に話してやるべきだと思います。

昔、自分が苦勞してきた事などは子供にはやらせたくない、子供も親の苦勞してきた姿を見てきているから親のようにはなりたくないと思える。これでは後継者が育つはずがありません。親がもつと、自分の仕事に自信と誇りを持ち、胸をはって子供と接する事ができれば、まだまだ農業を仕事として、頑張ってみようと思える若者がでてくるのではないのでしょうか。それと(農業＝百姓)とかく百姓と云うと、暗いイメージにとられがちですが、けしてそんな事はないと思います。仕事じたいたいへんやりがいのある仕事だし、それとにより共通の仕事を持つ仲間との交流がもてる事です。何か壁にぶちあたった時、自分だけでは解決できない事でも、仲間をもつことによって、共に考え解決してゆくこともできます。

私は今、稲作のほかに夏秋茄子の作付をしています。私が、家に入り農業を始めたころは、葉たばこを主体にやっていたんですが、自分の家の他はほとんどの家が、土方など外に出ての仕事でした。だから話す相手も少なく、毎日がつまらなくてしかたありませんでした。でも夏秋茄子の栽培を切っ掛けに園芸作物を作る家が増え、今では、ほとんどの人達が部落内で仕事をするようにになりました。以前に比べて部落内にも活気がでてきたし、仕事こそ違うけれど若者も多く残ってくれています。親たちが今の仕事や生活に自信を持っていれば、いくらかは後継者が家に残ってくれる様になるのではないのでしょうか。

イス カメラ(※)メイドインジャパン(※)アンドオー トマチック」と蒲生に來たアメリカの先生に答えられ、まあ俺の英語でも通じないこと

編集後記

テーブルコーダーのお世話に今回はだいぶんりましたが、後から何回も聞ける利点はあ

っても、それを文字に直すとなると倍以上も時間を要する欠点をつくづく味わいました。▼「日本に來られたのはいつですか?」と聞いたのに「デ

戸籍の窓口

(8月21日～9月20日受付)

幸せ多い人生を(結婚)

小野島正志・鄭 基心

(会沢・柳窪)

げんきなよい子に(出生)

市川大地・康男・佳代子

(長男・田沢・五十刈)

関谷紗智・友美・松美

(三女・松代・しぜん)

関谷 綾・常夫・ユリ子

(長男・松代・善宗塚住宅)

冥福を祈ります(死亡)

齊木篤義

(中子・坂の下)

宮澤甚吉

(下山・林)

笠原シズ

(小荒戸・又七)

小堺政一

(蓬平・あきんど)

柳 イチ

(奈良立・五泉屋)

